

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : Canadian Tourism College

**留学期間** : 平成 28 年 2 月 24 日 ~ 平成 29 年 2 月 21 日

私はカナダのバンクーバーにある Canadian Tourism College という学校へ留学をしました。観光に関する勉強がしたい、得意な英語をもう少し磨きたいという思いから専門留学することに決めました。専攻は Hospitality and Tourism Management Diploma というコースでした。

学校探しや VISA の申請は無料の現地エージェントに相談しながら行いました。エージェントは現地にオフィスがあるかどうか、サポートがしっかりしているかどうかを基準に選びました。エージェントは有料、無料のものがありますが、無料のものでも十分にサポートして頂けたので、私は無料エージェントをお勧めします。インターネットで調べれば情報は手軽に手に入りますので、悩んでいる方は口コミなどを読んで決めてもいいと思います。VISA 申請は自分でもやろうと思えばできるようなのですが、私の場合、専門留学で就学ビザも就労ビザも必要だったため手続きが複雑だとエージェントから説明を頂き、お任せすることにしました。

住居に関しては、私の場合、最初の 1 ヶ月間はホームステイをし、その後は色々なシェアハウスを転々としてきました。ホームステイ先の食べ物が合わない、門限が厳しく学校が終わった後にクラスメイトと出かけたりできないなどホームステイ先があまり合わないという話も現地をよく聞いたので、シェアハウスなどで暮らすのも選択肢のひとつだと思います。シェアハウスは日系の現地留学情報サイトの掲示板から探し、オーナーと連絡をとって、実際に部屋の見学に行き決めていました。条件のいい部屋はすぐに次の住人が決まってしまうため、常にサイトをチェックし、いい物件があればオーナーに連絡を取ることが大事です。納得のいく部屋を見つけて契約するまでに最低でも 10 日はかかりますので、一人暮らしやシェアハウスを希望している方は、留学に行く前からどんな部屋があるのか早めに見ておいてもいいと思います。

現地に到着し学校に通い始めてみると、自分が思い描いていた留学生活とは違っていました。クラスにアジア人はほぼゼロ、現地の学生にはからかわれ、本当に日本に帰りたいという思いでした。今思えば、からかわれても上手く返すことができればもっと早くに良好な関係を築けたのかもしれませんが、当時は初めての長期海外生活でしたし、英語での上手い返し方など浮かびもありませんでした。学校を辞めたい、語学学校へ入学し直したいと考えるようになり、エージェントに相談しましたが、せっかく授業が理解できているのに勿体無い、負けずに頑張ってみなさいと叱咤激励を受け、辞めずにもう少し頑張ってみることにしました。できるだけ明るく、積極的に先生やクラスメイトに話しかけに行ったり、授業中に理解しきれないことがあったときは授業後に先生に質問しに行くよう心がけました。すると学校にも慣れ、友達もでき、楽しく学校生活が送れるようになりました。留学してみると、「自分が思ってたのと違う」、「こんなはずじゃなかった」なんていう、理想と現実のギャップに驚いたり、ショックを受けることもよくありますが、そんな時はあまり気にせず、そういうものだと割り切ってみると楽になれます。新しい環境や経験を楽しんでみてください。

また私の加入していたコースでは、学んだことを活かせる会社や組織での半年間以上の勤務が卒業に

必須であったため、入学してから半年後にカナダでプチ就職活動を行いました。企業でフルタイムで働いた経験も、専門的なスキルもないただの学生だった私は、簡単には雇用してもらえずとても悔しい思いをしました。しかし諦めずに活動し続けた結果、現地の日系観光会社のツアーオペレーターとして、また、1日200件以上の予約が入る人気高級レストランのキッチンスタッフとして勤務することができました。これらの経験を通じて、私は働くことの厳しさや楽しさも学びました。海外でアルバイトや仕事をしたいと思っている方は、事前に現地で使用されている言語で書いたレジュメ(履歴書)を用意しておくことをお勧めします。カナダの場合、日本と違ってレジュメに決まったフォームはないため、書く内容なども含めすべての項目を自分で作成する必要があります。作成になかなか時間がかかるので、準備しておいて損はないと思います。またカナダにはカナダで生まれ育った人々はもちろん、その他様々な国から様々な目的でやってきた人々がいたため、学校や職場で使用する言語はフランス語、韓国語、中国語、スペイン語と様々で、今まで学んできた英語のみならず、他言語を彼らから学び意思疎通を図ることもしばしばありました。私たち日本人は外国語を学ぶといえば英語を学ぶことであると考えがちですが、決して学ぶべき言語は英語のみではないということも感じました。多民族国へ留学する場合は、余力があれば主要言語以外の言語を勉強しておいてもいいかもしれません。

最後に、留学するにあたって皆さんも辛く大変な思いをすることがあるかもしれませんが、「超えられない試練なんて与えられない」と思って、乗り切ってみてください。きっとその先には成りかけた自分、自信を持てる自分があるはずです。皆さんの留学が成功するよう願っています。